

令和5年度第3回南外地域協議会会議録

令和5年9月29日

南外地域協議会

令和5年度第3回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■協議	3
1) 令和5年度地域枠予算事業に関する報告について	3
2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」について	5
■閉会	1 1
■署名	1 1

令和5年度 第3回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和5年9月29日（金） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 9名

伊藤 伝悦、伊藤 悠、加賀 正夫、風口 宏子、
今野 徹、佐渡 敏夫、佐藤 喜八郎、佐藤 正行、
相馬 静華、

■欠席委員： 5名

伊藤 正人、伊藤 真紀子、加賀屋 由香、進藤 覚、
高寺 衛

■出席職員： 6名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長）	堀井 みわ子（市民サービス課長）
佐藤 和好（農林建設課長）	佐藤 マキ（公民館長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）	菊地 明憲（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - ①令和5年度地域予算事業に関する報告について
 - ②南外地域「彩色千輪プロジェクト」について
- 4 その他
- 5 閉 会
- 6 署 名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆さま、本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。
ただいまから「令和5年度第3回南外地域協議会」を開会いたします。
開会にあたり、佐藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんばんは、農繁期でお忙しいところ第3回の協議会にお集まりいただきまして、ありがとうございました。今年の夏は異常な暑さでしたけれども、暑さ寒さも彼岸までということでしたが、やはり彼岸を過ぎますと秋らしい気配が近づいております。暑かった夏を思い出しながら、秋の実りを楽しみたいというふうに思います。

去る7月25日ですけれども、彩色千輪プロジェクトの一環である堀井徳五郎翁の世界ということでミニ講演会が実施されました。私も参加いたしましたけれども、講演会は来栖史江さんというフリーアナウンサーの方、兵庫県の方でしたけれども昔ばなしを研究されている方で、非常に徳五郎さんに興味を持たれて、いろいろな話を聞かせていただきました。私も初めてというか、徳五郎さんの功績をあまり知りませんでしたけれども、いろいろとすごい人だったということを知らせて、嬉しく思います。大正2年に22歳で南檜岡小学校の校長を6ヶ月ほどやられてという話もありまして、私の母校である小学校で22歳で校長をやったなんて、すごい人だなとあらためて感激したところでした。

それから、9月10日には、4年ぶりとなる南外地域の運動会が開催されまして、加賀実行委員長には大変ご難儀を掛けましたけれども、午前中でしたけれども皆さんやっぱり楽しく集まっていることを脈々と感じさせていただきました。これも地域予算の中から、ある程度補助を出して実施されていることですので、興味を持っていただけるのかなと思います。

それから10月7日の日、土曜日ですけれども、地域協議会の委員は研修という形で大仙アカデミーが行われますので、是非とも皆さん積極的に参加いただければというふうに思います。10月21日は稔りフェアということで、大仙のイベントがあるんですけれども地域協議会長名でご案内が来ておりまして、顔を出したいなというふうに思っております。どうぞ皆さんも進んで参加いただければというふうに思いますし、10月29日、目白押しですけれども南外地域の産業祭が開催されますので、こちらの方も興味を持って参加いただければというふうに思います。今日で3回目の協議会ですけれども、報告等あると思いますけれどもご意見をいただければというふうに思いますので、どうかよろしくお願ひします。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございました。

それでは議事に入らせていただきます。

本日の出席予定委員数は10名で、現時点で7名の方が出席されています。過半数に達

しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題は、その他を含めまして3件であります。また、会議録作成のため録音させていただくことを、あらかじめお断り申し上げます。

なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は佐藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは、協議会を始めます。

議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名します。

伊藤悠 委員と佐藤喜八郎 委員にお願いいたします。

それでは、議事を進めてまいります。議題①「令和5年度地域枠予算事業に関する報告」について、事務局より説明をお願いいたします。

○菊地地域活性化推進室主査（以下「地域活性化推進室主査」と表記）

【資料説明】

◇令和5年度地域枠予算事業に関する報告について

（「【南外地域】地域枠予算対象事業実施報告及び事業説明書」参照）

■第9回南外地域運動会開催補助事業（市民協働型）

日程：令和5年9月10日（日） 南外小学校グラウンド

概要：今年は4年ぶりの開催となり、内容の見直しを行い午前中のみの実施。

南外地域内の年代間、住民間、教育機関や行政が運動会をとおして絆や連携を深めることを目的に実施。

■なんがい地域祭 おらだの秋フェス2023（市民協働型）

日程：令和5年10月29日（日）

時間：ステージ発表 午前9時00分～ 南外コミュニティセンター

出品物展示 午後9時00分～ 南外支所駐車場 外

概要：南外地域の総決算として学習活動や芸術文化活動、農業振興など、その成果を一堂に会して発表する事業として実施。今年は、市内の各地域持ち回りで実施している国際フェスティバルも同時開催。

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

○加賀正夫委員

まずは運動会、皆さんのおかげで無事に終わることが出来ました。1週間ずらしたんですけれども、まだ暑くて午前中で終わって正解かなと思ったところもありました。午後ま

でやっていたらもしかすれば熱中症の方も出たかもしれないと思ったりして、まあ皆さんやってみていろいろと感じられたことだと思いますので、まず来年も実施したいと思っておりますので、いろいろと皆さんからご意見をいただいてうまくいくようにやりたいと思いますので、なんとかよろしくをお願いします。

○会長

ありがとうございます。皆さんから何か運動会に関するご意見ございますか。

○佐渡敏夫委員

私、スポーツ協会の支部長をしておりますので、その立場からひとつ。運動会が終わった後に、事務局の佐々木繁雄さんに中々自分たちでやりきれないところがあるので、なんとか今後お願いできないかという話をされました。まず、唐突にお願いされても正直なところそういう簡単な問題では無いと思いましたが、たまたまスポーツ推進員の方々も手伝ってましたので何人かと協議して、ただ簡単に引き受けるとか引き受けないかという問題よりも、運動会の在り方そのものをいろいろな人に集まってもらって協議して、こういう形にしたらいいのではないか、うまくできるのではないかなとかそういう協議の場を設けたらどうかということで、その日は話を終わりました。まず、いずれ私もそういう地域が盛り上がる行事はやったほうが良いと思いますけれども、それが若い人の負担になっているのであれば、それはそれでまたひとつ問題だなと思いますので、そこをうまく解消できるように、皆さんの方からできるだけ早めに協議して、近くなってから協議されては分からないので、そうなればいいなという話をしましたので、以上参考までにお話しさせていただきました。

○佐藤喜八郎委員

今の佐渡委員の質問に対して、地域協議会としての方向性を示さなくてもよろしいですか。

○佐渡敏夫委員

一応、実行委員会の形で活動としてやっていますので、例えば皆さんボランティアでやっているのに、市としてこういうふうにやりなさいというような形でもないと思いますので、いろんな立場の人が、ゼロから始めたほうがかえって提供しやすいのではないかと、逆にここで方向性を出してしまうと、私こういうふう考えたんだけどという意見が上がってきたときに、話しが出しにくいのではないかと私は思うのですが、よろしくをお願いします。

○佐藤喜八郎委員

ある程度の方向性があったほうがいいのかと思ってだったのですが。

○会長

運動会の実行委員会を立ち上げてやっておられるようですので、そこを主体として色々な関係部署と一回打ち合わせをする場を早めに設けるという方向でどうでしょう。

○加賀正夫委員

実行委員会が3回やってますけれども、学校、幼稚園それから老人クラブ、婦人会とかそういった関係でやったんですが、佐渡委員の言うとおりに、そういう方にも入ってもらえれば、いろんな意見が出るので大変良いことだと思うので、来年も早めに実行委員会をやりたいと思いますので、そこはご相談したいと思います。

○会長

ほかにご質問等ありますでしょうか。なければこの議題については、ここで一旦終了したいと思います。

続きまして議題②の「南外地域『彩色千輪プロジェクト』について」について事務局より説明をお願いします。

○地域活性化推進室主幹

【資料説明】

◇南外地域「彩色千輪プロジェクト」について

（「南外地域『彩色千輪プロジェクト』令和5年度実施事業」参照）

それでは、私の方から南外地域「彩色千輪プロジェクト」について、説明させていただきます。お手元の資料、南外地域「彩色千輪プロジェクト」令和5年度実施事業と書いたものをご覧ください。

令和5年度も折り返し地点に差し掛かりましたので、今年度の事業の進捗状況と今後の方向性について、ご説明したいと思います。

これまで、ご覧いただいた資料を修正したものを今回新たに作りましたので、重複している部分ですとか、以前に説明させていただいた部分については割愛させていただきますので、よろしくをお願いします。

南外支所では、令和5年度の「彩色千輪プロジェクト」事業として、地域住民が集う機会をつくるをテーマに次の事業に取り組んでいます。

一つ目ですけれども、昔ばなしの語り部堀井徳五郎翁顕彰事業です。この事業に関しては、今までも説明させていただいておりますので、省略させていただきます。

この事業に関して、どんな事業を実施したかということに関して、大きく2つ実施しておりますので、こちらについて説明させていただきます。

一つ目が南外民俗資料交流館の中に、昔ばなしの語り部堀井徳五郎翁資料展示コーナーを新設したことです。こちらは、南外支所が市広報紙等を通じて市内外から集めた徳五郎氏に関連する資料を展示しています。資料展示用のショーケースは他地域の公共施設で使われなくなった中古備品を再利用しています。展示パネルやキャプションボードはすべて

職員が手作りしております。南外さいかい市の協力を得て資料館の屋内案内看板を設置しました。こちらの部分に関しましては、既存の設備を使ってあまり費用をかけないで新たに作ったものになります。

そして南外ふるさと館で「昔ばなしの語り部・堀井徳五郎翁」ミニ講演会を開催しました。こちらは大曲の花火の前日で8月25日の午後に開催されました。秋田魁新報や秋田民報、地域 SNS で事前告知しまして、市内外から約30人が参加しました。講師として日本話しことば協会理事でフリーアナウンサーの来栖史江さんをお迎えしております。また併せて昔語りを大仙民話の会のご協力を得て実施しております。

二つ目の事業です。南外中学校地域とつながるプロジェクトです。こちらは、一つ目が南外中学校堀井徳五郎翁昔話伝承事業です。堀井徳五郎さんがのこした数多くの昔ばなしのうち、他に類がなく、徳五郎氏のみによって伝承されたといわれる昔ばなし、長福山の山姥を地元中学生が紙芝居化する事業で、地元中学生が地域文化への理解を深め、ふるさとへの愛着を高めるきっかけとすることを目的に企画したものです。南外中学校2年生16人を対象に実施しています。現在紙芝居作品は完成しており、今後は秋田弁でつくられたシナリオの読み語りを練習した後、公開の場で発表会を開催する予定です。

昨年までの中学校の連携事業に関しましては、発表会の場を設けており、その際には地域協議会の委員の皆さんをご招待しております。今年もご案内したいと思っておりますのでぜひ、ご参加よろしくお願ひします。

○地域活性化推進室主査

【資料説明】

◇南外地域「彩色千輪プロジェクト」もっと売り込め！「南外さいかい市」ブランドスイーツについて（「R5南外中学校『地域とつながる！』プロジェクト活動風景」参照）
それでは、もっと売り込め南外さいかい市ブランドスイーツについて、説明させていただきます。

別紙のR5南外中学校地域とつながるプロジェクト活動風景の資料をご覧ください。

この事業については、昨年度の1年生、今の2年生ですが南外さいかい市の活動を理解するとともに、さいかい市やさいかい市で作られている手作りのお菓子のPRをとおして、地域おこしに携わっていくきっかけとして、昨年度から実施している事業です。

その第2弾として、今年は新1年生13名を対象に9月7日、14日、21日と3回に渡って、合同で授業を行いました。

昨年度からの大きな違いとしては、一つは実際の現場で活躍されている方を講師に迎え活きた技術を学ぶこと、もう一つは昨年度は既存のペーパーバックに自分のデザインしたラベルシートを張ったもので販売を行いました。今年はペーパーバックを一からデザインし、自分で組み立てたものを使って販売実践をするというものです。そして、もう一つが、地元ラジオ局、FMはなびをとおして自分自身で活動を紹介するという3つのことを軸に事業をおこなっています。

1 ページ目が1回目の授業写真です。1回目は、昨年同様にデザインを考案する際の参考になるよう、実際に地域祭で販売予定のさいかい市のお菓子の試食とグループ毎にデザインについての話し合いを行いました。

裏面をご覧ください。こちらは、2回目の授業の様子です。2回目の授業では、実際に商品の包装パッケージのデザインなどもされている、株式会社販促の後藤満さんを講師に迎え、普段から現場で活躍されている方にアドバイスいただきながら、パッケージデザインを行いました。

3 ページ目をご覧ください。こちらは、3回目の授業の様子です。3回目の授業では、デザインしたペーパーバックの組み立てと、FMはなびの収録を行いました。放送日時ですが、ちょうど今日の朝に放送されており、今朝の7時45分頃のFMはなびパワーフライデーPART1という番組の中で紹介されております。

放送をお聞きにならなかった方もいらっしゃると思いますので、ここで5分程度、お時間をいただいて、ラジオ放送に写真映像を加えたものをご紹介しますと思います。

【ラジオ収録DVDを視聴】

今ご覧いただいた内容で放送されております。また今後の予定ですが、地域祭後に今回の放送で出演できなかった生徒4～5名でFMはなびのスタジオで生番組に出演することも検討しております。

当日は、支所玄関横のブースで9時30分頃から販売を開始する予定で、昨年度は30分程度で完売となっており、今年は販売数を増やす予定でありますが、地域協議会委員の皆さまには、早めにご来場いただき、ぜひお買い上げいただけますようお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

【資料説明継続】

それでは、資料の2枚目と3枚目には、この徳五郎顕彰事業の様子が秋田民報の取材を受けまして、記事にされたものもありましたので、こちらを掲載いたしましたので後ほどご覧いただければと思います。

ページ番号3の令和5年度南外地域彩色千輪プロジェクトその他の事業の進捗状況の表をご覧ください。こちらの表に関しましても、以前からご覧いただいておりますので詳細に関しましては、割愛させていただきますが、こちらに掲載してあります事業全部で10事業あるわけですけれども、現時点におきまして実施済みの事業が3つ、現在実施中の事業が5つ、未定や実施予定の事業が2つとなっております。予算の確保が難しく実施が危ぶまれた事業もありましたが、指定管理業者ですとか、南外さいかい市、郵便局長協会などの地域との結びつきが強い事業所や団体の皆様のご協力とご厚意で、今年度の事業も形になりそうだと感じています。

例えば、上から3つ目のWi-Fi環境の整備に関してましても、南外ふるさと館の指定管

理業者さんからのご協力で最低限ではありますが、環境を整備することができました。

上から8つ目、自主上映会運営の支援につきましても、当初予算の中で必要機材を購入し、自主上映会を行いたいという団体に対して、貸し出しして活動を支援することを目的にしておりましたが、機材を購入するための予算が残念ながらつかなかったのですが、その後、東北郵便局長協会さんから、先程ラジオ収録の映像をご覧いただいたプロジェクターですとか、スクリーン等を寄贈していただきまして、事業実施の環境が整ったと思っ

ているところです。

このように地域の皆さんのお力添えをいただきながら、引き続き事業の方を進めていきたいと考えております。

続きまして、ページ番号4番をご覧ください。南外地域彩色千輪プロジェクトの全体構想です。こちらに関しても、何度もご覧いただいた資料になりますが、おさらいもかねて説明させていただきます。

彩色千輪プロジェクト、南外地域においては南外地域協議会が考えた、次に掲げる3つの地域活性化の方向性の実現を目標とします。

本プロジェクトの推進にあたっては、南外地域自治区振興計画等のまちづくりにかかる既存の計画で掲げている目標の中で達成していないものについても同時に目指します。

地域活性化の方向性についてですけれども、こちらは地域協議会の皆さんに以前考案いただいたキャッチフレーズをもととしています。自立してコンパクトな南外、子どもからお年寄りまで元気で安心な南外、自然豊かで人が集まる南外、この実現を目標としています。

そして、この目標を実現させるためのポイントとしまして、地域を持続させていくために必要なのは、地域住民がつながりあうための場所づくりときっかけづくり。そして、地域住民が考え、行動し、できることから着実に進めていくということを目指しているポイントとしています。

令和4年度、昨年に関しましてはアンケート調査等を行いながら拠点施設のこれからをみんなで考えることを目標にしました。

今年、地域住民が集う機会をつくることを目標にしています。

来年度からは、交流の輪をより大きく外側へ広げていきたいと考えています。これは、近隣の神岡地域や大森地域などの住民から南外地域に足を運んでいただき、地元の南外の人たちと交流する機会をつくっていききたいと考えているものです。

南外地域彩色千輪プロジェクトの今後の方向性ということですが一つ目、堀井徳五郎翁顕彰事業は、地域文化の掘り起こしや地域住民の世代間交流、また地域間交流に有用であると考えられるますので専門家や市内の関係団体の意見等を取り入れながら今後も実施したいというふうに考えています。

二つ目、管内保育・教育機関との連携事業地域とつながるプロジェクトは、地域の将来を担う地元の子どもたちが地域の課題を理解し、地域づくりに参画する機会として定着しつつあることから、見直しと改善を図るとともに新たな趣向を盛り込みながら今後も実施したいというふうに考えています。

三つ目、地域の拠点施設合同イベントは、令和4年度に実施した子育て世代アンケートをはじめとする地域の拠点施設の利活用に関する各種意見調査で、地域住民等から寄せられた意見やアイデアを生かすこととし、地域を盛り上げ、市民が交流し合える催しを目指して今後も実施したいというふうに考えています。

今お話ししたとおり、今後は現在実施している事業をブラッシュアップして継続化していくことを考えています。

一見、真新しさは無いように思われるかもしれませんが、今年度新たに取り組んでいる堀井徳五郎氏の顕彰事業ですとか、事業開始から3年目を迎えて定着しつつある地域とつながるプロジェクトは、派手さはありませんけれども南外地域らしい取り組みとなっております。

そうしたものをコツコツと続けて、積み上げていくことで全体構想で掲げている目標につなげていきたいというふうに考えております。

地域協議会の皆さんにもご協力をよろしくお願いします。

以上で説明を終わります。

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

○佐藤喜八郎委員

以前に若い人達から高齢者と若い人の語り合いの場所、語り合いの時間を作ってほしいという要望があったと思いますが、非常にインパクトがあり記憶に残っています。彩色千輪プロジェクトの中にも地域住民の世代間交流というのがあるんですけども、その事業を具体的に進めていくことは出来るのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

今佐藤委員の方からあった話があったものについては、以前に地域協議会の委員の皆さんで行ったミライワークショップの中で出てきた、世代間交流のサロンを行うことできないかという意見のことだと思います。

これに関しては、3ページ目のミライワークショップ、拠点3施設事業の実施ということで、世代間交流を目的としてサロンの事業を実施するというように書いています。

現時点で80代の高齢者を対象にしたサロンは始まりましたが、お話しがあった若い世代を対象にしたサロン部分をまだ実施していない状態です。ただこれにつきましても、出来る限り今年度中にやりたいというふうに考えております。

○会長

ほかになにか、ご意見はありませんか。

○加賀正夫委員

全体構想に出てくる南外地域自治区振興計画というのは、こういった内容なのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

以前に地域協議会の委員の皆さまからご意見を頂戴しながら、策定したものが南外地域自治区振興計画というもので、各地域の特色を活かしながらまちづくりを進めていくための指針として、地域協議会の皆さまに相談しながらまとめた経緯があります。

それ以降、計画は新たに作らないという話しにはなっていますが、計画を見ていったところまだ達成されていない部分がありましたので、そういったところは彩色千輪と併せて進めていきたいと考えております。

例えば、地域振興計画の中では、地域ホームページの開設というものがありました。今でいえば地域SNSということで、Twitter今はXとなりましたがこちらを開設しまして、頻繁ではありませんが更新させていただいています。地域に特化した話題などを発信しています。他のものとしては、運動会を継続的にやっていくとか、地域にふさわしいイベントの実施などがありました。そういったものも振興計画と照らし合わせながら、実際に実現できそうなものについては、彩色千輪プロジェクトのなかで実施していきたいと考えております。策定から大分時間は経過しておりますけれども、次回の地域協議会で振興計画を再度配布したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○会長

ほかになにか、ご意見はありませんか。ないようですので、議題3のその他に入りたいと思います。委員の皆さんから日頃気になっていることがあればご発言をお願いします。

【意見聴取等】

- ・佐渡敏夫委員より、10月9日（月）開催の「南外フレッシュスポーツ大会」の紹介
- ・堀井市民サービス課長より、大仙市南外介護予防拠点施設「ぬくもりの郷」について、今後の運営方針の説明

ないようですので、本日の協議会はこれで終わりたいと思います。

次回の会合は11月下旬を予定しております。詳細は後日事務局を通じてお知らせします。

これもちまして、令和5年度第3回南外地域協議会を閉会します。

(19時00分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 悠

佐藤 喜八郎
